

2007年1月24日

NTTコムウェア株式会社  
株式会社インターネットイニシアティブ  
日本オラクル株式会社  
日本ベリサイン株式会社

## EPCglobal 物流部会における世界的な国際物流実証実験に NTTコムウェア、IIJ、 日本オラクル、日本ベリサインが共同参画

～Japan Application Consortium を設立し、国際物流における RFID(電子タグ)を活用した  
標準化 RFID システムの構築を実施～

NTTコムウェア株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:今井 郁次 以下 NTTコムウェア)、株式会社インターネットイニシアティブ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一 以下 IIJ)、日本オラクル株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:新宅 正明 以下 日本オラクル)、日本ベリサイン株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長兼 CEO:橋本 晃秀 以下 日本ベリサイン)は、国際的な RFID 標準化団体である EPCglobal(\*1)が1月から実施する国際物流の実証実験において、共同で標準化の仕様に準拠した RFID システムを構築します。

### 【実証実験の概要と目的】

グローバルなサプライチェーンにおける国際物流では、物流業者は世界各地で多くのお客様毎に、多種多様な情報のやり取りを行っています。そのためシステムが複雑になり年々コストが増大するという課題があります。

物流業界では業界全体の高度化や可視化へのニーズが高まっており、RFID を活用した利用拡大・普及を見据えた国際標準の策定が求められています。そこで大手物流関連企業が RFID の国際的な標準化策定団体である EPCglobal に物流部会(Transportation & Logistics Services Industry Action Group (\*2))を設立(2005年11月)し、標準化の推進を行ってきました。

今年度から経済産業省の支援を受け、第1段階として香港-日本間(2007年2月完了予定)、第2段階として上海-ロサンゼルス間(2007年10月完了予定)で、RFID を利用した国際物流の実証実験を行います。

第一段階の実証実験では、国際物流企業である DHL、マースク、日本郵船、シェンカー、シュナイダーも参加する予定です。

さらに、香港・日本の RFID システムの実験では、双方向の相互接続も実施を予定してい

ます。これらの実証実験を通じて、物流部会が検討している RFID 適合のビジネス要件を実フィールドで検証し、本格運用に向けた課題抽出と解決を主な目的としています。

### 【参画企業の役割】

この実証実験の重要な要素として、国際物流におけるサプライチェーンの可視化を行うための RFID システムの構築が求められています。今回、NTT コムウェア、IIJ、日本オラクル、日本ベリサインの各社は本実証実験を通して JAC（Japan Application Consortium）を立ち上げ、各社の EPCglobal 標準仕様に準拠した製品・ソリューションを利用して、商品やコンテナに取り付けられた RFID の情報流通を実現する RFID システムを構築します。

各国・各社の EPCglobal 国際標準に準拠した RFID システムの連携により、物流におけるサプライチェーン情報流通のオープンなプラットフォームが構築され、物流関係者（物流業者、荷主）はサプライチェーンの可視化、最適化、円滑化を容易に実現することができ、企業活動全体に寄与することが可能になります。

今回各社は、実証実験を通じて RFID の情報流通を実現するオープンなプラットフォームの有効性や効果を実証します。

### ●各社の提供内容

RFID ミドルウェア（NTT コムウェア、日本オラクル）

EPCIS（IIJ、NTT コムウェア、日本オラクル）

ONS、Local ONS（日本ベリサイン）

### 【今後の展開】

今回の実験から得られた各種結果を国際標準として積極的に提案し、一般企業に対しても物流分野における RFID の適用ノウハウを提供します。今後 RFID システムは、他システムとの連携や大量データの円滑な制御、高いセキュリティの確保など、完成度の高いシステムへ発展していくことが求められており、各社の実績、経験と技術力をもとに、ワールドワイドなオープンプラットフォームの実現を目指します。

今回のプレスリリースに関して経済産業省様、日本郵船様からコメントをいただいております。

### 【経済産業省様からのコメント】

経済産業省は、物流業界の発展のために RFID 活用における重要な標準化を推進する EPCglobal に対して積極的に協力しています。その中で国際的な企業が多く参加する今回の大規模な国際物流実証実験において、日本企業が牽引している標準化 RFID システムが、グローバルにわたるサプライチェーンを高度化し物流業界の発展に寄与するものと期待します。

経済産業省 流通政策課長  
浜辺哲也

### 【日本郵船様からのコメント】

日本郵船株式会社と株式会社 MTI は、このたび IIJ、NTT コムウェア、日本オラクル、日本ベリサインの 4 社が EPCglobal の物流部会における国際物流実験において重要な役割を果たすことを歓迎いたします。物流部会の共同議長として今回の実験の成功を期待するとともに、IIJ、NTT コムウェア、日本オラクル、日本ベリサインによる取り組みにより、物流業界における RFID のソリューション展開が今後さらに加速するものと期待します。

株式会社 MTI 技術戦略グループ  
プロジェクトマネージャ  
石澤直孝

### 【用語解説】

#### \*1 EPCglobal

バーコードに代わるデータキャリアとして RFID と インターネットを利用した EPCglobal ネットワークシステムの開発・推進・標準化活動を行うために、2003 年 11 月に設立された非営利法人（本部：米 ニュージャージー州プリンストン）。国際 EAN 協会（国際的な流通コード標準化機関：現 GS1）と UCC（米国の流通コード管理組織：現 GS1 US）が中心となって発足し、様々な標準化を行うための WG から構成される。2006 年 12 月時点で 1073 のメンバー企業が参加。

#### \*2 EPCglobal 物流部会(Transportation & Logistics Services Industry Action Group)

2005 年 11 月に設立され、国際物流の効率化に向けた電子タグの標準化を進めている。陸海空の輸送、ヤードや倉庫など拠点内のオペレーション、輸出入手続などにおける電子タグのビジネスケースを検討し、国際物流業界としての電子タグに対するビジネス要求事項をまとめている。日本からも多数の企業が参加しており、特に日本郵船が物流部会の共同議長を務めるなど、日本が主導的な役割を果たしている。

### 【本件に関するお問合せ先】

●NTT コムウェア株式会社 広報室 鹿間、田村

Tel: 03-5796-4139 / 03-5479-9216 / E-mail: kouhou@nttcom.co.jp

URL : <http://www.nttcom.co.jp/>

●株式会社インターネットイニシアティブ 広報室 手島、富永

Tel: 03-5259-6310 / 03-5259-6311 / E-mail: [press@ij.ad.jp](mailto:press@ij.ad.jp)

URL : <http://www.ij.ad.jp/>

●日本オラクル株式会社 野見山

Tel: 03-6238-8395 / 03-5213-6990 / E-mail: [Yuko.Nomiyama@Oracle.com](mailto:Yuko.Nomiyama@Oracle.com)

URL : <http://www.oracle.co.jp/press>

●日本ベリサイン株式会社 飯坂

Tel: 03-5796-4139 / 03-5479-9216 / E-mail: [pr@verisign.co.jp](mailto:pr@verisign.co.jp)

URL : <http://www.verisign.co.jp/>

\*Oracle は、米国オラクル・コーポレーション及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。その他のブランドまたは製品は、それぞれを保有する各社の商標または登録商標です。